



しらら

賀正

謹んで新春の御祝詞を申し上げます

平成十三年(二〇〇一年)元旦

市浦村役場

- 市長 高松隆三
- 助役 工藤誠一郎
- 収入役 山田勝明
- 教育長 木村義光
- 総務課長 桑野邦夫
- 企画財政課長 古川徹
- 住民福祉課長 三和省勝
- 経済観光課長 成田義正
- 建設課長 中居松男
- 教育次長 白川隆治
- 議会事務局長 三和徳衛
- 住民福祉課副参事 奈良勝義
- アトム保育園長 大沢ふみ子
- 市浦診療所 内科医師 八木田一輝
- 歯科医師 林宗輝
- 津軽北部広域事務組合市浦消防署長 小山内清春

年頭のごあいさつ

二十一世紀 新しい感覚で

市浦村長
高松 隆三



とうとう二十一世紀を迎えました。

人類史上最も激動の波にもまれ、時には厳しく、時には優しく私共に変化を求め続けてきた百年。

そしてその時々々の辛苦を糧に常に未来への期待をこめて新しい歴史を刻み続けてきた百年。

その二十一世紀も終わり、全人類の更なる夢と希望が託された。

二十一世紀の幕が上がりました。百年に一回しかない、この歴史の転換の年に例年になく新鮮さと緊張感の中で新世紀を迎えることができたことに深い感慨を覚えるものであります。

二十世紀から二十一世紀へ、

いまだ大きな時代の波が押し寄せ、「日本が変わろう」としている

この時に、新しい歴史への旅人としてそれぞれのヒトのココロも変わらなければならないと思います。新世紀のはじまりのこの年に村民一人ひとりにも心期する何かをもって欲しいと思います。

○自分だけしか歩めない道。
○二度と歩めない、かがやきの道。

○広い道、せまい道、急な坂道。○いろんな道がありそれがまた遠い道であっても休まず歩む姿から、新たな道がひらけてくるものと思います。

これからの時代はハコモノからソフトの時代、感性によってヒトが動く時代になるといわれています。

ソフトとは何か、それは「見えるものを見る」ことだと哲学者であり、ユネスコの事務局長でもあるフェデリコ・マイヨールさんはいっておられますが、さらに現代の「見えるもの」の一つは「癒し」、「癒される」ことだともいっておられます。

私は、二十一世紀は健康とエネルギー（食料も含めて）の世紀になると予測し、それを先取りする形で、「癒し」の海、青い「医学」として人気の高いタラソテラピー「しーうらんど海遊館」の建設にふみきりました。この施設をフルに活用して多くの方々に健康になって欲しいと思っています。

また、年間約三百日間、配食サービスを実施するとともに、包括ケアといわれる、在宅医療、在宅看護、在宅福祉の充実にも全力投球しており、今春には特養ホームもオープンしますが、地域全体で癒し、癒されるシステムをつくるためには、ボランティアやNPOの力もお借りしたいと思っています。

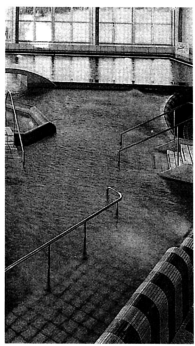
二十世紀から二十一世紀へ、その未来へつながる道は必ずしも現在の延長線上にはなく、少子化、超高齢化、景気の長期低迷、財政再建、市町村合併など大きな課題が山積しております。

こうした現状をまなまえ、二十一世紀は座標軸のない漂流の時代になるといふ人もおります。しかし、逆境の時代の時にこそ人は進歩し、ロマンも生まれるのがこれまでの歴史が証明しております。

蛇は脱皮しても蛇でしかありませんが、サナギは脱皮すれば蝶に変身します。「17革命」により産業構造も社会構造も大きく様変わりしていく中で、皆さんのライフスタイルも根底から変えていかなければならない時が来ると思います。新しい時代に新しい感覚で変身されるよう、

年の始めにあたりお願い申し上げます。始めよければすべてよしという言葉がありますが、わが村も二十一世紀のいいスタートを切るためには村民皆様のご理解とご協力がぜひ必要であります。

本年も皆様方のご支援とご多幸を祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。



21世紀の幕あけ

二十一世紀 大きな飛躍をめざして

市浦村議会議員

工藤 武則



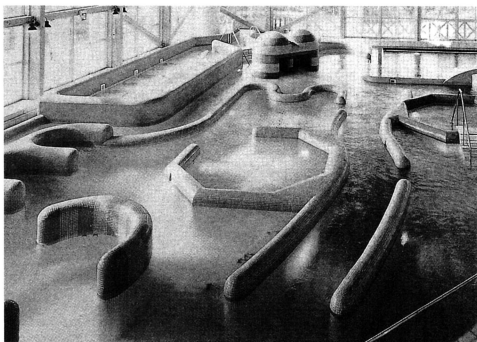
村民の皆様、新世紀あけましておめでとうございます。新世紀に向け明るく希望に満ちた新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。また平素、議会運営につきましては、各般にわたり村民の皆様のご協力のご支援ご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

二十世紀から二十一世紀へと世紀が代わり大きな変革の時代を迎えました。地方自治体にとりましては従来の形式主義や漫然とした前例の踏襲にこだわることなく、勇気ある変革を求められている時代でもあります。

私たちは二十一世紀を見通しながら、大きな飛躍をめざして村の諸施策の推進に取り組まなければなりません。いまだ依然として低迷する経済情勢をはじめ、厳しい財政問題など山積しておりますが、村の活性化につなげるため、村の基幹産業であります農林畜産業や水産業をはじめ商工業や観光の産業振興、さらには教育環境の整備や超高齢化と少子化に向けての対応など、生活関連施策の整備に務めてまいります。

わたくしたちの村は、「豊かな自然と文化の香り高い健康で明るい村」をキャッチフレーズに昨年、村民の皆様方のご協力により、待望の健康増進施設「しーうらんど海遊館」をオープンする事が出来ました。ことに感謝を申し上げます。

二十世紀を振り返ってみますと、激動の明治から始まり、大正、昭和そして、二十世紀から二十一世紀に引き継ぎ平成の年号は国民の幸福と平和を願って、「平成」と名付けられました。が、二十世紀の最後の幕際には、パ



▲「癒しの海・青い医学」として人気の高い「しーうらんど海遊館」の元気海プール

ブルの崩壊そして阪神・淡路大震災・北海道有珠山噴火・鳥取西部地震・東海地方に未曾有の豪雨、更には、三宅島住民の全戸避難等、最悪の世紀末でありました。そして、昨今、地方分権法の施行が始まるが同時に、市町村合併問題等がにわかに沸騰し、新たな対応を迫られており、今後私たち議員も村民の代表としての責務と役割の大きさを深く自覚し、決意を新たに、自ら行政改革の徹底と議会の活性化に取り組んでまいれる所存でありますので、今後共、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい世紀の幕開けの年が皆様にとってよい年となりますよう折念して、年頭のごあいさつとします。

二〇〇〇年ハイライト

二十世紀最後の一年となった二〇〇〇年。村でもいろいろな事業が行われました。写真でこの一年(二〇〇〇年)を振り返ります。



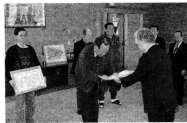
▲2月、七里長浜にオウギハクジラ漂着



▲中世安藤の里めぐりツアーが大盛況



▲「新やまなみ号」運行される



▲100万円は「若松チーム」に(セーフティ300事業)



▲全国から注目される十三湊遺跡発掘調査



▲小船をつないだと思われる縄が出土(十三湊遺跡)

1月

○二〇〇〇年暮あけ。
○コンピュータが談話する「二〇〇〇年問題が話題となったが、役場では、これといった話題はなかった。

○市浦村議会議員選挙。投票により十二人の新議員が決まる。

2月

○改選後の臨時議会で、議長に上藤武則氏、副議長に浜田春十氏を選任。

○阿蘇郡族が第十二回青森活性化大賞で、一歴史の息吹賞を受賞。

○十三地区・七里長浜にオウギハクジラが漂着。

○第四回白鳥まつり。

3月

○セーフティ300事業の報償金百万円が「若松チーム」に贈られる。

○平成十一年度村スポーツ賞が「団体・四人の個人」に贈られる。

○第四回町内会親善フットボール大会。

4月

○介護保険制度スタート。村の一般会計当初予算額は二十八億八千万円。

○村交通安全協会婦人部がチャイルドシート十台を寄贈。

○平成十二年四月に小学校が統合されるため、太田小学校を除く村内の三小学校では、最後の入学式となる。

○一日トック(総合健診)で村民八百五十人が受診。

○二回目の「セーフティ300事業」が四月八日スタート。一〇一チーム(一千三十人が参加)。

○「音遊(しみ)」の分別収集開始。

5月

○村独自の介護保険オプスマン四人を委嘱。

○青森県「ミス北彩紀行」に秋田谷裕子さん(十三)が選ばれる。

○相内、太田地区で虫送り。

○統合小学校校章デザイン、校歌歌詞を募集。

○健康増進施設「タラテラ」のネーミングを募集。

○五所川原市で開催された、農津軽虫と火まつりに「相内の虫送り」が参加。

7月

○中世安藤の里めぐり定期観光バスツアー。期間中は、県内外から二〇二名が参加。

○桂川、桂守会が昔ながらの炭焼き窯を復活させる。

○教育委員会に英語指導助手として、ジョン・ローレンスさんが兼任。

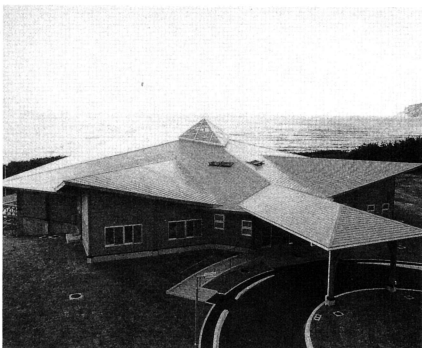
○十三湖とJR蟹田駅を結ぶ「新やまなみ号」バスが運行。



▲7月、4回目となる姫神コンサート開催



▲全国のサーファーが十三湖に集う「ドコモレーシング2000」



▲健康増進施設「しーらんど海遊館」が完成



▲地元で開かれた「ふるさと市浦会」交流会



▲ふるさと体験交流事業「もや焼き」にチャレンジ



▲今年の夏も御輿運行(十三の砂山まつり)

12月

○第三十二回市浦村保健・医療・福祉共同計画会議開催(コミセン)

11月

○しーらんど海遊館ランドオープン。
○第二十一回あすを拓くふるさとまつり。(コミセン)
○平成十二年市浦村褒賞授賞式。あすなるホール
○ジョン・ローレンスさんが不慮の事故により死去。お別れ会がとり行われる。(ミゼン)

10月

○平成十二年国勢調査実施。
○しーらんど海遊館完成による、落成式を挙行。
○しーらんど海遊館レゾナンス。期間中は四千人が施設を利用。
○しーらんど海遊館レゾナンスイベント。中村健二さん、木原光知子さんの講演会を開催。(ミゼン)
○火災予防運動パレード。
○中世・十三湊演習オールド(五所川原市・國民交流センター)
○木村守男無知事とのふれあいトーク開催(あすなホール)
○ふるさと探検ツアーに、首巻園から十五名が参加。

9月

○第二十五回トリム野球大会で、相内小学校が準優勝。
○第三回十三湖高原まつり。(盆の駅十三湖高原)
○平成十二年敬老会。(ミゼン)
○第八回農民駅伝競走大会。村の部で十三位。(青森市)

8月

○市浦村で四回目となる「姫神・十三湖コンサート」開催。全国各地から三千八百人の観客が訪れる。(十三湖特設会場)
○十三湊発掘調査がスタート。
○市浦村消防団観閲式。(相内地区)
○健康増進施設「タラソテラピー」の名称が「しーらんど海遊館」に決定。
○関東地区「ふるさと市浦会」との意見交換会。(あすなホール)
○関東地区「ふるさと市浦会」交流会を二年ぶりに地元で開催。百五十名が参加。(ミゼン)
○成人式。三十二人が大人の仲間入り。(コミセン)
○「新やまなみ呂」が運行終了。運行期間の乗車人員は四百四十一人。
○ウインドサーフィンの全国大会「ドコモレーシング二〇〇〇」が十三湖で開催される。
○十三の砂山まつり。(十三地区)
○ねがたまつり坊鐘餅り。(相内地区)
○第二十四回夕焼け野球大会で、ソノベグが十八年ぶり二回目の優勝。
○船元若木山神社大祭(船元特設ステージ)
○十三小学校恒例のカヌー岩木川下り。
○県民体育大会(十和田市)

平成12年 国勢調査結果(速報)

村の人口は2,911人

昨年10月1日現在で行われた国勢調査の人口と世帯数の結果が公表されましたので、お知らせします。なお、速報値ですので、後日国から発表される数値と一致しない場合があります。

市浦村の人口は前回調査(平成7年)に比べ162人減少し2,911人(男1,382人、女1,529人)に、世帯数は7世帯減少し1,007世帯という結果になりました。

人口を地区別に見てみると6地区すべて減少し、脇元、桂川、太田地区がいずれも約11%と高い減少率を示しています。

また世帯数は、前回調査に比べ全体で、7世帯減少しましたが、脇元地区が13世帯減少したのに対して、十三地区では、16世帯増加する結果になっています。

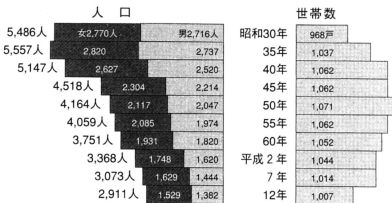
1世帯当たりの平均人員も、前回調査の3.03人から2.89人に減少し、核家族化が進んでいることがうかがえる結果となっています。

■前回調査との比較

地区	総人口(人)		増減数		増減率		世帯数(戸)		増減数
	平成12年	平成7年	(人)	(%)	平成12年	平成7年	(戸)		
相内	1,148	1,209	△61	△5.1	389	392	△3		
桂川	66	74	△8	△10.8	25	23	△2		
太田	234	262	△28	△10.7	82	88	△6		
脇元	464	522	△58	△11.1	176	189	△13		
磯松	261	262	△1	△0.4	94	97	△3		
十三	738	744	△6	△0.8	241	225	16		
計	2,911	3,073	△162	△5.3	1,007	1,014	△7		

■市浦村の人口・世帯数の推移

(昭和30年～平成2年)



▲高松村長から伝達されました。

脇元婦人会が 全衛連会長賞受賞

このたび脇元婦人会(斎藤恵美子会長)が、全国地区衛生福祉連合会長賞を受賞し、高松村長から表彰状が伝達されました。脇元婦人会は、地域での地道な福祉活動や自主的な健康づくり事業を実施した活動が評価されたものです。

斎藤会長は、「この受賞を契機として、今後も会員と連携しながら、地域に根ざした活動をしていきたい」と、喜びをかみしめていました。

十一月十五日東京都自治省講堂において全国から功績顕著な十二名の地域消防のリーダーへ西田自治大臣より平成十二年度消防功労自治大臣表彰が授与され、当村から消防団長の三和清平さんが表彰されました。消防功労自治大臣表彰は、昭和六十二年に創設され、国民の生命、身体、財産を災害などから防護するため、郷土愛護の精神に基づき、消防活動、火災予防思想の普及などに献身的に尽力し、地域消防のリーダーとして功績顕著な方へ授与されています。



▲表彰を受ける三和さん

消防功労者自治大臣表彰

村消防団長 三和清平さんが受賞

三和さんは、昭和二十九年月に相内村消防団員を拝命以来、四十六年の水きにわたり地域住民の生命財産を守り、民生の安定に貢献。また、昭和五十八年十月からは市浦村消防団長に就任し、永年、地域消防のリーダーとしてご尽力されている功績など認められたものです。

21世紀・中央省庁が生まれ変わります

2001年1月6日、1府12省庁が発足します。

平成13年1月6日から、国の中央省庁が統合再編成され、現在の1府22省庁から1府12省庁になります。一例をあげると「厚生省」と「労働省」が統合され、「厚生労働省」になるなど、新しい府省名に変わります。これは、21世紀を迎え、日本という国が今後どうあるべきかを考えて、求められる仕組みに編成し直す大改革です。

府省名新旧対照表

現在の省庁	新府省	現在の省庁	新府省
<ul style="list-style-type: none"> ○総理府本府 ○経済企画庁 ○沖縄開発庁 ○金融庁 ○国家公安委員会 ○防衛庁 	<ul style="list-style-type: none"> ○内閣府 ○国家公安委員会 ○防衛庁 	<ul style="list-style-type: none"> ○科学技術庁 ○文部省 	<ul style="list-style-type: none"> ○文部科学省
<ul style="list-style-type: none"> ○総務庁 ○郵政省 ○自治省 	<ul style="list-style-type: none"> ○総務省 	<ul style="list-style-type: none"> ○厚生省 ○労働省 	<ul style="list-style-type: none"> ○厚生労働省
<ul style="list-style-type: none"> ○法務省 	<ul style="list-style-type: none"> ○法務省 	<ul style="list-style-type: none"> ○農林水産省 	<ul style="list-style-type: none"> ○農林水産省
<ul style="list-style-type: none"> ○外務省 	<ul style="list-style-type: none"> ○外務省 	<ul style="list-style-type: none"> ○通商産業省 	<ul style="list-style-type: none"> ○経済産業省
<ul style="list-style-type: none"> ○大蔵省 	<ul style="list-style-type: none"> ○財務省 	<ul style="list-style-type: none"> ○北海道開発庁 ○国土庁 ○建設省 ○運輸省 	<ul style="list-style-type: none"> ○国土交通省
<ul style="list-style-type: none"> ○環境庁 	<ul style="list-style-type: none"> ○環境省 		

※統合されない省庁でも部局の再編が行われます。



▼申告書の郵送先
 〒〇三七〇〇〇四
 五所川原市大字唐笠柳
 字藤巻五〇七一五
 五所川原合同庁舎内
 五所川原税務署

平成十二年分の所得税の確定申告は二月十六日(金)から三月十五日(木)までです。
 税務署では「申告書が自ら正しい申告と納税を行う」という申告納税制度の趣旨から、確定申告書等の「自書申告」を推進しています。
 確定申告書や収支内訳書は「確定申告の手引き」や「収支内訳書の書き方」などを参考に、自分で記載を。
 出来上がった申告書等は、郵送でお早めに提出してください。

自分の申告 自分で書かなきゃ!

確定申告書作成説明会のお知らせ

五所川原税務署では、左記に該当する方を対象に、確定申告書の作成説明会を開催します。

★平成十二年分の収入が「公的年金のみの方」を対象。

◆日時 平成十三年二月十三日 午前十時～十一時、午後一時～二時からの四回開催。

◆場所 五所川原中央公民館

★平成十二年分の収入が「給与のみで、住宅借入金等特別控除だけを受ける方」を対象。

◆日時 平成十三年二月十四日 午前十時、午後二時からの二回開催。

◆場所 五所川原中央公民館

一階大ホール
 ※いずれの説明会も計算機や源泉徴収票など持参しなければならず、必要書類がありますので、参加する方は、五所川原税務署までお問い合わせください。

▼お問い合わせ
 五所川原税務署

個人課 第一部門

☎三三四一三二二

今年 は 巳年

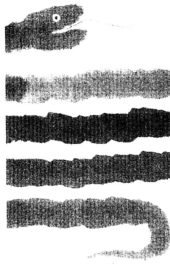
約二千七種も生息

蛇は爬虫類へヒ亜目の動物で、トカゲと同じ祖先をもつといわれています。

体は細長く、四肢はありません。細い舌の先端は二またに分かれてよく動きます。また、自然界に約二千七種もいるといわれています。

蛇は悪者？ 神？

日本の神話に登場する蛇はヤマノオロチ(八岐大蛇)といつて、頭が八つ尾が八つ、体の長さは八つの谷を越えるほどだったといえます。そのオロチが



娘を食いにかけて、スサノオノミコトという神に退治されたという話です。

一方、蛇は神格化され、聖書や神話にもしばしば登場します。また、水の守り神として信仰された、家の守り神として家にも住みつきの蛇を喜んだりする例もあります。

このように、蛇は悪者として恐れられていますが、神としてあがめられることもあり、いろいろな話が世界各地に伝わっています。

また、毒蛇が恐れられ、嫌われるのはもちろんですが、それを薬用にする例もあり、強壮剤としても珍重されています。

蛇の絵に足を書きたず

蛇は、古くから人間とかかわりが多い動物だけに、蛇に関す

る故事やことわざもいろいろあります。

「蛇足」。これはよく知られている言葉で日常会話にも使われていますが、こんな由来があります。

昔、楚の国の役人が、蛇の絵を一番早く書いたのが酒を飲むことができたという競争をしましたが、一人がいち早く完成したのにもかかわらず、時間に余裕があったので足を書きたすてしまい、負けてしまったという話です。

そのことから、あつても意味のないもの、余計なことという意味に使われています。

「蛇の道はへび」も、よく聞くことわざです。「じゃ」とい「へび」といっても、呼び方が違うだけで同じもの。同じ仲間のやったことならすぐに分かる、という意味です。

「蛇吐き」一蹴をつついで蛇を出す。しなごうよいことをして、かえつてよくない結果になることです。

心豊かに暮らせる年に

「蛇穴をいづつ」という言葉もありました。冬眠していた蛇が、春暖くなって地上に出てくることをいいます。

二十一世紀の始まりの今年も巳年。迅速していた蛇が、春になって春を迎え、みんなが安心して心豊かに暮らせる年にしたいものです。

あなたの声を県政に！ 県政モニター募集

県では、県政について「こうしたらどうか！」「こういうことをやってみよう！」「こういう意見を、ご提案をお寄せくださる県政モニターを募集しています。県政に関心のある方、県政に熱い思いのある方の募集をお待ちしています。

◆募集資格

県内に居住している満二十歳以上の方(ただし、議員、公務員、行政相談員、国やその他の公共団体のモニターになっていない方や今後なる予定の方、平成八年度以降に県政モニターを経験した方は除きます)。

◆募集人員

二十八人

◆委嘱期間

平成十五年三月三十一日

◆仕事

アンケートに対する回答

①アンケートに対する回答 (年四回)

②県政に関する意見や提言の提出 (随時)

③県政モニター会議への出席 (一回)

◆謝 礼 一年ごとに記念品を差し上げます。

◆応募方法 官製はがきに必要な事項を記入して、平成十三年二月九日(金)(当日消印有効)までにお送り下さい。

ハガキの記入例

[表]	[裏]
030-8570 50 青森県選挙推進室 県政モニター係	青森市長 一丁目 所名(ふりがな) ①住 氏名 ②姓 月日 ③生 年月日 ④職 電話番号 ⑤電 話 ⑥モ ニターを希望する理由 ⑦モ ニター希望する理由 ⑧各種モニター経験

あ と が き

昨年四月六日ステイコした二回目の「セーフティ300」事業。一月三十一日でゴールの三百日目を迎えます。

一年のうち、一月下旬から二月にかけて、最も寒さが厳しいといわれています。路面の凍結による事故も多いようですので、車の運転には先に注意が必要ですが、気をゆるめず慎重に。ゴールは目前です。(三不)